

12月に入り2020年も残すところあと僅かとなりました！！寒さも日に日に厳しさを増していますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

引き続き手洗いうがい・マスク着用を徹底して気を付けて生活していきましょう♪

前記事でもお伝えした通り、11月は多くの推進校で講演会等が実施されました。今回は、県立西宮香風高等学校と洲本市立堺小学校の取組を紹介します!(^^)!

## 11月16日（月） 県立西宮香風高等学校

この日、学校を訪れたのは同校出身で東京パラリンピック車いす陸上100m日本代表 大矢 勇氣 さん。生徒会代表2名によるインタビュー形式で、これまでの苦労や共生社会についてのお話をお伺いしました。また、競技を始めてからの1日の過ごし方や東京パラリンピック出場に向けた意気込みなどもお話していただきました。

目に見える障がいと目に見えない障がいを抱える大矢さん。同じように困っている人が過ごしやすいようにしたいとの思いで「心のバリアフリー」を目指しており、“**近くに障がい者がいないとどうすればいいかわからないだろうけど、知る機会があれば変わるはず**”と発信を続けられています。

困っている人がいたら「手伝いましょうか?」と声をかけてくれるとありがたいとの事で、自分でしたいという方もいるので「大丈夫です」と言う人も多いと思いますが、どんな方でも内心は嬉しいものです、と仰っていました。



## 11月20日（金） 洲本市立堺小学校

北京オリンピック陸上5000m、10000m日本代表 竹澤 健介さんによる講演は、「夢の先に見えたもの」と題され行われました。

「早稲田大学で箱根を走りたい!」という最初の夢から、「北京オリンピック出場」という夢。そしてその経験を活かして「自分を超越する選手を指導者として育てたい!」という現在の夢。

夢を達成したら次の夢ができていく“夢の変化”。その**経過や努力の繰り返しでいつの間にか大きな壁を乗り越えられるんだ**と、ご自身の経験から話してくださいました。

そして、講演の最後には、「**人との出会いを大切に。沢山の経験、失敗が成功をつかみます。皆さん、どんどんいろんなことにチャレンジしてください。**」とメッセージを送られました。

講演後には、運動場でランニング教室が行われました!! 走る時に必要な意識やトレーニングなどを教えていただき、みんなで姿勢に気をつけながら実際に1キロほどのランニングに挑戦しました♪

